

報道機関 各位

平成25年2月4日  
東北地方整備局  
小名浜港湾事務所

## 相馬港 沖防波堤災害復旧工事におけるケーソン進水のご案内 ～国内最大級の大型起重機船によるケーソン吊降し作業～

東日本大震災で甚大な被害を受けた相馬港では現在、復旧に向けた工事が行われています。東北地方整備局では、船舶航行や荷役作業の安全確保に不可欠な港内静穏度向上を目的に、沖防波堤の復旧工事を急いでいます。

このたび、陸上にて製作しておりました防波堤ケーソンの一部が完成し、国内最大級の大型起重機船による海上への吊り降ろし作業が始まりましたので、お知らせします。

1. 工事期間 平成25年2月下旬頃までを予定
2. 作業場所 相馬港ケーソン陸上製作ヤード(4号ふ頭地区)及び前面海域
3. 作業内容 陸上で製作したコンクリート製ケーソン(約1,800ト)を、国内最大級の大型起重機船(クレーン船)で吊り上げ、海上に進水させます。
4. 作業時間 作業は日の出前から始められ、実際にケーソンが吊り上げ、進水されるのは午前7時30分～9時頃となります。気象・海象条件により、中止となる日が多く見込まれています。

### ※取材について

- ・下記の問合せ先までご連絡を頂ければ、①工事概要、②作業状況写真(JPG形式)を提供します。
- ・現地取材を希望される方は、別途、希望日や当日の連絡方法について調整をさせていただきますので、下記までご連絡下さい。

### 〈問合せ先〉

国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所 企画調整課 新田(にった)、江尻(えじり)

TEL:0246-53-7142 FAX:0246-53-2912 E-mail:info-o82ab@pa.thr.mlit.go.jp

【投げ込み先】福島県政記者クラブ、相馬市記者クラブ

# 相馬港 沖防波堤災害復旧工事〔事業主体:国土交通省東北地方整備局〕

・施工場所／相馬港 4号ふ頭地区ケーソン陸上製作ヤード及び前面水域



・工事概要／東日本大震災により被災した防波堤の災害復旧工事の一環として、相馬港陸上部で製作された鉄筋コンクリート製ケーソン(長さ:20m、幅:15m、高さ:12m、重さ:1,800トンのうち、完成した24函を順次海上仮置き場へ移設させるもの。ケーソンの吊り上げには、国内最大級の起重機船(クレーン船)『洋翔(ようしょう)』が使用される。

